

増田のまちなみ 公開家屋のこと

① 佐藤養助商店 漆蔵資料館 国登録有形文化財



材木や味噌醤油を商いとした江戸時代より8代続いた大地主・小泉五兵衛の旧宅。戊辰戦争においては350両という増田一の御用金を納めている。現在は稲庭うどん店に併設する資料館として公開している。

② 旧勇駒酒造 (旬菜みそ茶屋くらを) 国登録有形文化財



宝暦4年(1754)に石田久兵衛が創業し、昭和6年(1931)に株式会社化、平成15年まで営業。酒樽を模したモルタルの鰻絵はこの建物のシンボルとなっている。

③ 佐藤又六家 (佐藤家住宅) 国指定重要文化財



増田特有の細長い敷地に縦長に家屋を配置した姿を現在に伝えており、増田地区最古の店(見世)蔵が現在も現役で使用されている。最大の特徴は、主屋の中にその店蔵が組み込まれているところにある。

④ 旧村田薬局 市指定文化財



江戸時代中頃から平成まで続いた増田で最古の薬舗。切妻造り平入りの店蔵で、二階は薬品等を保管する倉庫として使用。天井は竿縁天井で廻り縁は洋風の繰り方が彫られており凝った意匠となっている。

⑤ 佐藤三十郎家 国登録有形文化財



江戸後期までは「増の井」の醸造元であった石田久左衛門がこの地で醸造を行っていたが、秋田市に転居したのち初代佐藤三十郎が居住し現在に至る。内蔵はこの地区では最大級の梁間を誇る大型の座敷蔵である。

⑥ 高橋茶舗 国登録有形文化財



米穀商を営んでいた五十嵐養吉家が建立したことから「五養」の蔵と言われ、戦後になり高橋茶舗の所有となった。土蔵は側面の壁まで黒漆喰で仕上げられている。

⑦ 升川商店 (旧栄助商店) 国登録有形文化財



旧栄助商店は大正4年、初代栄助氏が仙臺屋商店から家屋を譲り受け、荒物商を営んでいた石平商店から独立したのが始まりで、戦前まで荒物商を営んでいた。現在は升川商店として公開している。

⑧ 谷藤家 市指定文化財



主屋は、接客の客間棟と日常の住居棟が、黒漆喰磨仕上げの座敷蔵を挟んで分かれている珍しい形式である。客間棟一階は田の字型の間取りで各部屋とも棹縁天井。欄間等は組子細工によって装飾されている。

⑨ 笹原家 (かふえ宝蔵庵/蔵の宿 宝蔵庵)



明治後期100年超の米蔵はカフェとして営業。隣接する外蔵は1日1組限定の宿になっており、中には座敷が設けられ、入口の掛子塗土扉が付かない珍しい形態の蔵である。

⑩ 旧佐藤與五兵衛家 (まちの駅福蔵)



佐藤與五兵衛家は代々の地主で増田銀行設立時の監査役の一人。大正期に増田勸業社を設立し、セメントなどの建設資材を扱う商いをしていた。現在は、まちの駅福蔵で公開している。

⑪ 旧石田理吉家 市指定文化財



文政2(1819)年に石田久兵衛家より分家し、戦前まで酒造業(銘柄 金星)を営んでいた。県内でも珍しい木造三階建住宅。

⑫ 佐藤こんぶ店



大正期から昆布販売業を営んでおり、現在の場所で営業を始めたのは戦後のこと。内蔵の構造、使用の状況からみて、居住空間としてではなく物資の収蔵を目的として作られたものと思われる。

⑬ 興文館東海林書店 国登録有形文化財



戦国時代増田城主・土肥家の家老を勤めていた旧家。秋田藩主佐竹氏のお宿となったことを示す木札が残っている。明治18年に書店を開業。増田地区には数少ない入母屋造り平入りの建物である。

⑭ 旧石平金物店 (観光物産センター蔵の駅)



明治大正期に金物商などを営んだ石田家より横手市に寄贈され、現在「観光物産センター蔵の駅」として伝統的建造物の公開をはじめとする増田町の観光案内所兼物産販売所として運営されている。

⑮ 山中吉助商店 国登録有形文化財



居住部の小屋組が洋小屋組(トラス)、続く座敷と水屋そして蔵前は天井を張らない吹き抜けになっている。土蔵は典型的な意匠を示す座敷蔵。

⑯ 山吉肥料店 市指定文化財



増田の商家建築の特徴である家屋配置を良く残し、南側に配置された「とおり」が店舗より裏門まで一直線に伸びている。室内は明治大正期の建物に多用され、増田地域の特徴でもある一階の天井が高い造りで、北側となる座敷への採光が取れるように工夫されている。

⑰ 佐藤多三郎家 市指定文化財



明治以前から地織りの反物を商う太物商だったが廃業し先々代当主の三郎氏が医院を開業。現在の家屋は、閉院後に診療所と住居を解体し新築したものだが、蔵は明治後期の建築といわれる。「贅を凝らした蔵」が建築され始めた初期のもので大変貴重な土蔵のひとつである。

⑱ 石直商店 国登録有形文化財



増田地域特有の間口が狭く奥行きが長大な短冊型で、他家と同様に店舗・座敷・住居・水屋・内蔵等が配置されていたが、内蔵は解体され、店舗と座敷及び居住部が現在も使用されている。

⑲ 日の丸醸造株式会社 国登録有形文化財



現在、増田で唯一の醸造元。蔵元だけで販売されている限定酒は見学者にも好評。増田の数多い内蔵の中において、その意匠や豪華で繊細な装飾がひと際際立った内蔵である。